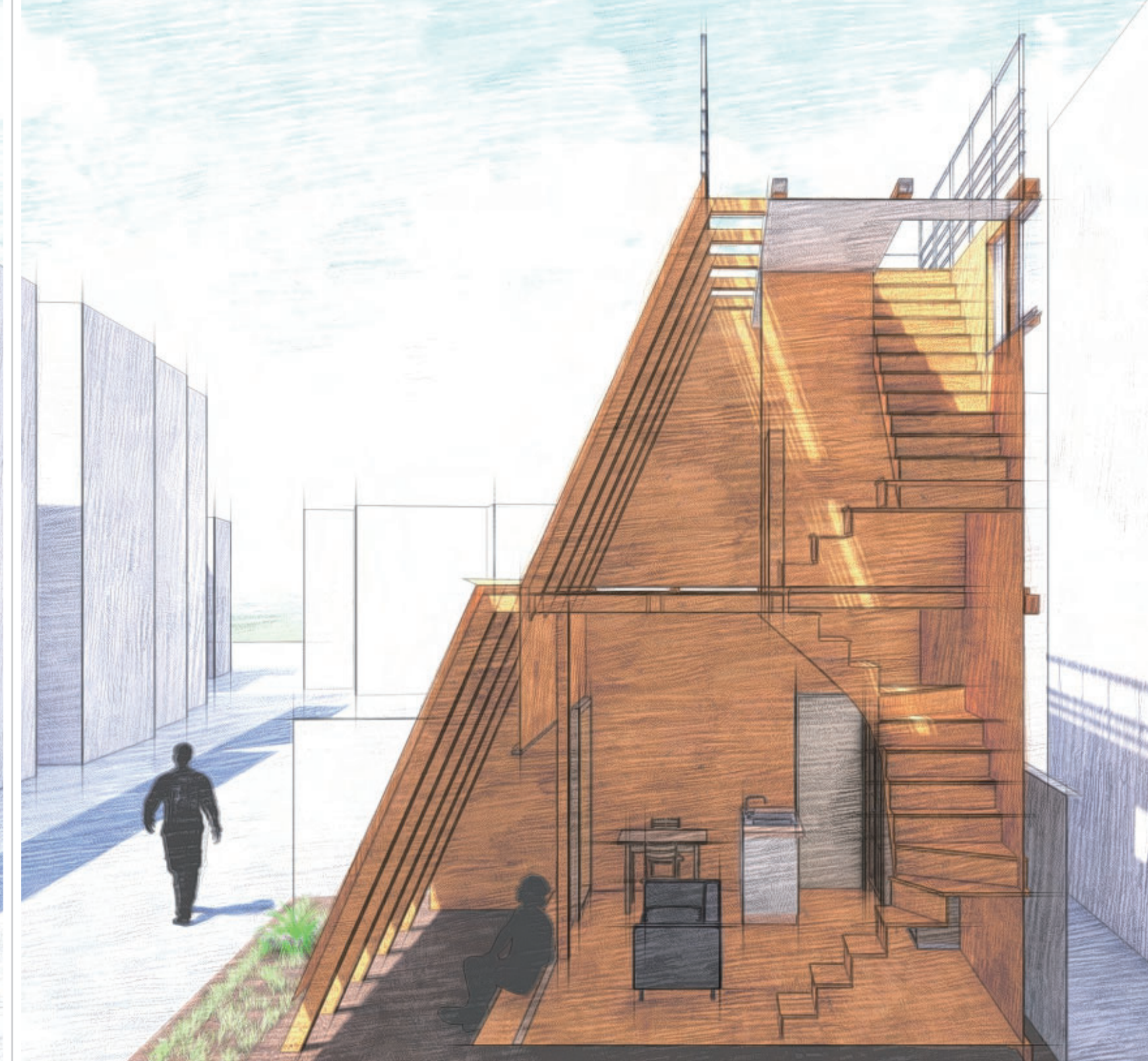
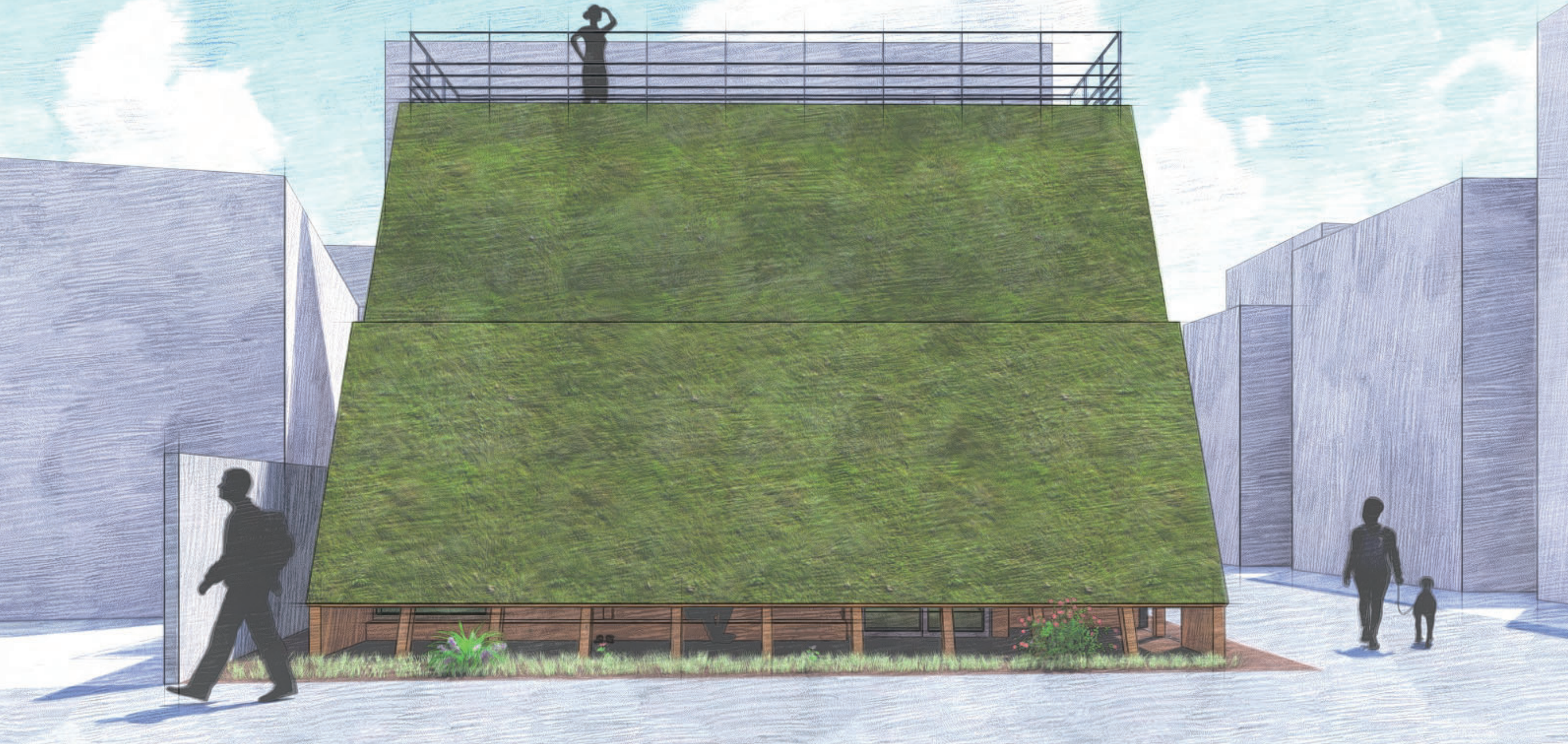
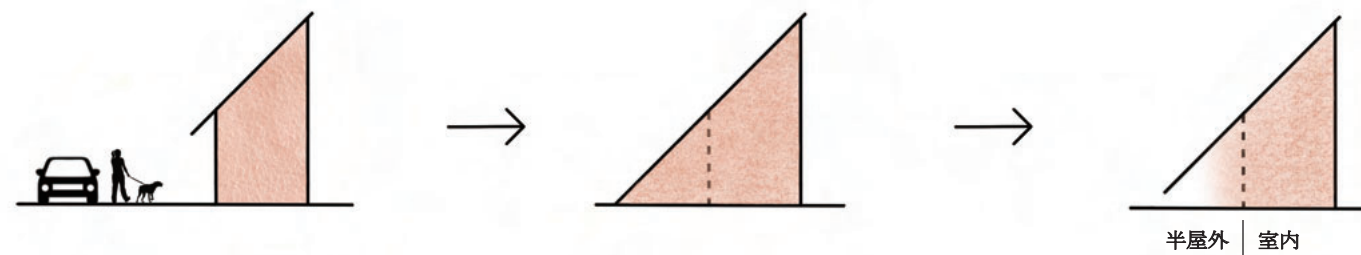


丘の中の暮らし

情報社会となった現代において自らの情報を守ることの重要性は増している。その中の一つとしてプライバシーが存在する。住宅街では特にプライバシーの保護が暮らしやすさに直結するのではないだろうか。そこで、プライバシーを保護しながらも外部を取り込む空間を計画した。丘のようにそびえたつファサードの中に新たな空間の暮らしが待っている。



屋根の変貌

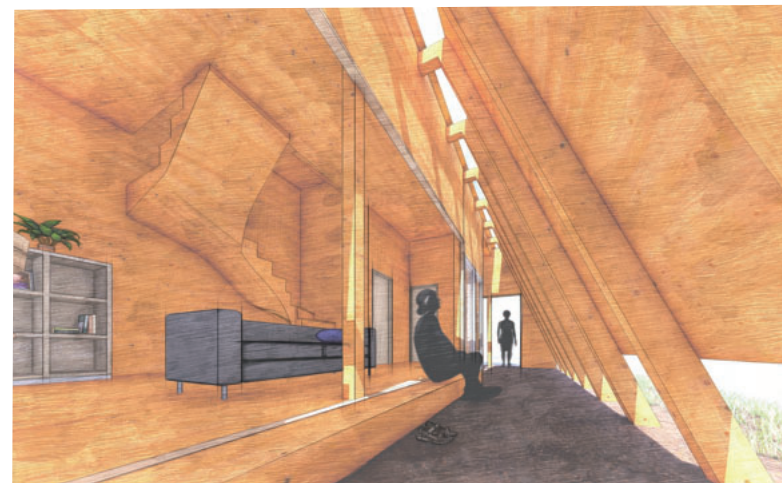


住宅が密集するこの地では、プライベートな外部空間を設けようにも道路からの視線がそれを妨げる。

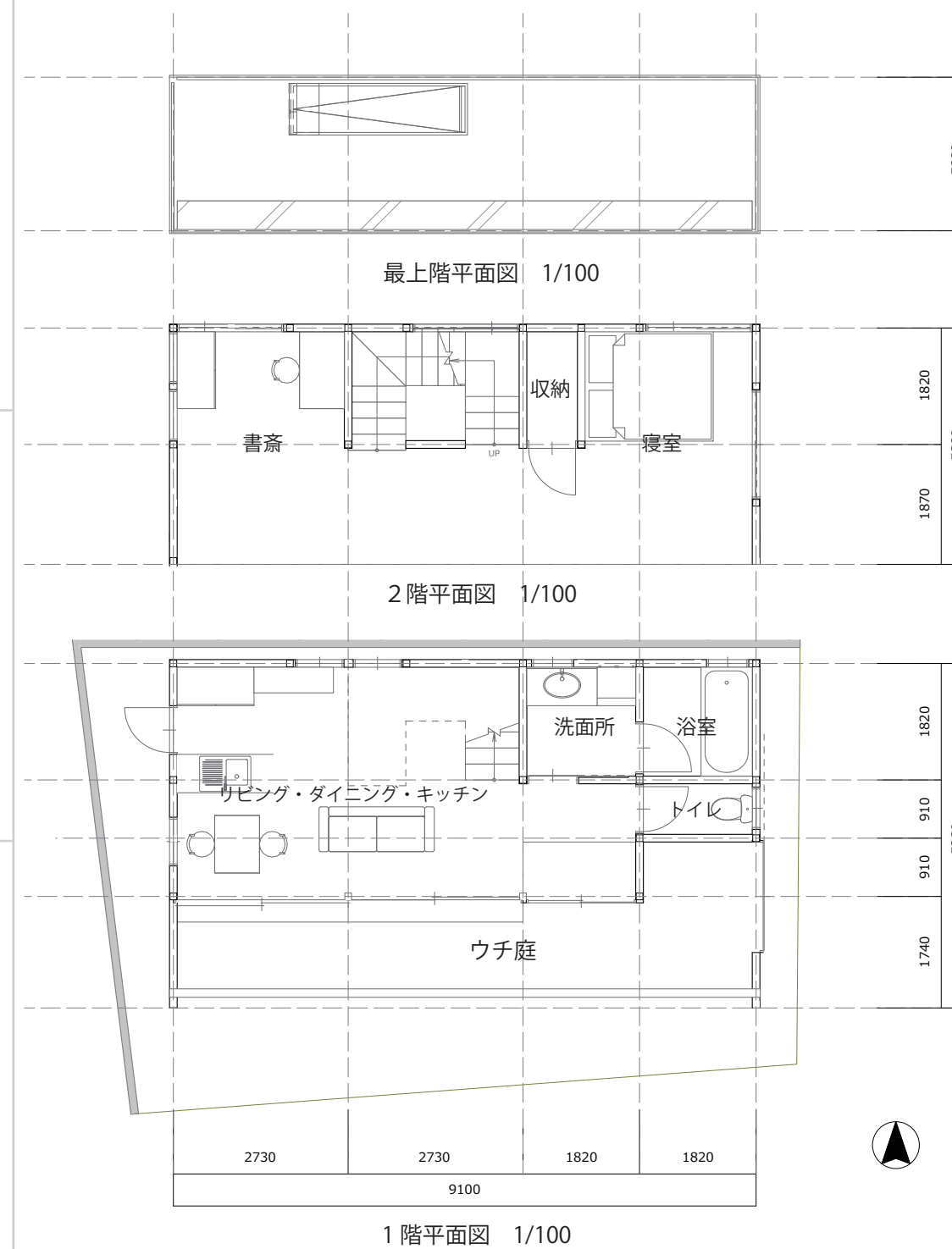
地面に屋根をおろすことで外部からの視線を防ぎ、プライベートな空間を確保する。

屋根を地面から少し開けることで、中にも外部の気配が伝わる。

建物東側の戸を開けると「ウチ庭」があり、そこは屋外とも室内とも言えない空間が広がっている。屋根の足元の隙間から溢れ出す光や風が、ウチ庭を介して、家の中へと流れ込む。



2階は屋根裏のような空間となっており、東西に延びる廊下が二つの諸室を緩やかに繋いでいる。その廊下には天からの光が差し込み、丘の上の様子を感じることもできる。



屋根に段を設けることによって視線を防ぎつつも、採光を確保する。屋上では丘の上にある展望台を醸し出し、世田谷区の景色を一望できる。



連なり新たな風景へ

この住宅は一つの住宅として完結するだけでなく、いくつも連なることによって新たな住宅街を創り出すことも可能である。

